

[062] 語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10290>

出版情報：語文研究. 62, 1986-12-10. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

学会彙報

昭和六十一年度第二学期講義題目(昭和六十二年十月～六十二年三月)

国語学

特講 国語学要論
 奥村 教授
 演習 平曲
 奥村 教授

“ 国語学の諸問題
 奥村 教授

特研 方言国語史
 奥村 教授

特講 国語史の諸問題
 奥村 教授

演習 古代語研究
 奥村 教授

“ 国語史資料研究
 奥村 教授

特研 国語表記史の研究
 奥村 教授

特講 上代語の研究
 鶴 教授

臨講 方言学
 日野 教授

“ 国文学
 日野 教授

特講 板本書誌学
 中野 教授

演習 俳文
 中野 教授

“ 続近世叢語
 中野 教授

特研 近世文人伝
 中野 教授

特講 源氏物語論
 今西 教授

演習 蜻蛉日記
 今西 教授

“ 本学所蔵伊勢物語注釈書解題
 今西 教授

特研 平安朝文学の諸問題
 今西 教授

特講 近代作家・作品研究
 今西 教授

講義 書道
 山田 教授

臨講 近代文学
 平岡 教授

昭和六十一年度第一学期講義題目(昭和六十二年四月～九月)

国語学

特講 国語学要論
 奥村 教授

演習 平曲
 奥村 教授

“ 国語学の諸問題
 奥村 教授

特研 方言国語史
 奥村 教授

特講 国語史の諸問題
 奥村 教授

演習 古代語研究
 奥村 教授

“ 国語史資料研究
 奥村 教授

特研 国語表記史の研究
 奥村 教授

特講 国語学要論
 奥村 教授

国文学

特講 板本書誌学
 中野 教授

演習 俳文
 中野 教授

“ 田舎狂子
 中野 教授

特研 近世文人伝
 中野 教授

特講 源氏物語
 中野 教授

演習 蜻蛉日記
 中野 教授

“ 本学所蔵伊勢物語注釈書解題
 中野 教授

特研 平安朝文学の諸問題
 今西 教授

特講 近代作家・作品研究
 今西 教授

(教養部)

海老井 教授

(九州大谷短期大学)

本田 教授

(福岡女子大学)

鶴 教授

(静岡大学)

日野 教授

(教養部)

海老井 教授

(福岡教育大学)

山田 教授

(筑波大学)

平岡 教授

▼昭和六十一年度九州大学国語国文学総会並びに研究発表会

昭和六十一年六月八日(日)

研究発表題目

漢詩と和歌の間

——『江吏部集』所載粟田障子考——

『杉楊枝』について

日中両語文法の対比的研究

——格助詞「を・に・で」を中心にして——

『大般若波羅蜜多經』読誦音の変遷

中原中也初期作品の世界

——「朝の歌」まで——

芥川龍之介の「湖南の扇」について

——魯迅の「菓」の影響——

九州北部方言のアクセント

——助詞「の」を中心に——

『吾妻鏡補』国語解の音訳漢字表記について

九州紀行小考

『伊勢物語』六〇段・六二一段の「みやび」を考ふる

木戸裕子

入口敦志

鄭兆宏

江口泰生

松下博文

彭春陽

中村萬里

高山倫明

坂坂耀子

吉田達

於福岡女子短期大学

昭和六十一年九月二十七日(土) 二十八日(日)

中野三敏

佐田智明

板本書誌学について

——刊と印と修と——

国語意識より見た中世語

——

——

——

——

——

——

——

——

——

——

研究発表題目

「いとど」と「いよいよ」について

国語資料としての仮名文書

——動詞をめぐって——

山の紀行

明治十九年の写実——逍遙と四迷——

あふ・ほり・もり

山下和弘

辛島美絵

坂坂耀子

石田忠彦

秋田義昭

(九州大学関係者のみ)

▼卒業論文構想発表会

於文学部会議室 昭和六十一年十一月八日(土)

▼国語学国文学公開講演会

於文学部会議室 昭和六十一年十一月二十一日(金)

『羅生門』の異空間

古典解釈の方法

会員消息

馬場純一氏(昭和七年卒)は、去る六十一年五月二十九日逝去されました。衷心より御冥福をお祈り申し上げます。

筑波大学教授 平岡 敏夫氏

九州大谷短期大学教授 本田 義彦氏

昭和六十二年九州大学国語国文学会

總會並びに研究発表会のお知らせ

日時 昭和六十二年六月七日(日) 午前九時三十分より

場所 九州大学文学部

※研究発表御希望の方は、発表題目を明記の上、九州大

学国語国文学会宛、昭和六十二年五月六日までにお申

し込み下さい。

*